

明石市文化財保存活用地域計画の骨子(案)

◎	主として取組む	短期 3年
○	協力して取組む	中期 5年
△	一部を取組む	長期 10年

保存と活用に関する課題	保存・活用に関する基本方針	番号	保存と活用に関する措置										KPI(成果目標値)			
			事業名	事業内容	取組み主体					事業計画期間			財源	指標	目標値	
					市民	専門家	団体	文化財部局	行政(関連部局)	短期	中期	長期				
課題1 人材育成に関する課題																
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習機会の継続的充実が求められる 学校教育における歴史文化に関わる人材育成を進めることが「教育のまち・明石」の特色を生かすこととなるが、十分な取組が進んでいない 学校教育における歴史文化学習推進が喫緊課題である 歴史文化遺産に関する教材開発や指導者等の研修会開催が必要である 	基基基基本本本本本 方方方方方 針針針針針 五四三二一	方針1 歴史文化遺産を担う人づくりを進める														
		1	生涯学習機会の充実	高齢者大学校における地域資源に関わる専攻コースの継続等により生涯学習機会を充実させる	○	○	◎		■	■	■	市費	高齢者大学専攻コース	継続		
		2	歴史文化コーディネーターの育成	小中学校における体験授業の企画・運営・指導を担うコーディネーターを地域人材として育成する	○	○	◎		■	■	■	市費	育成コーディネーター数	期間中6人		
		3	学校への出前授業の実施	地域人材による出前授業の実施により子どもたちに地域の歴史文化を学ぶ機会を提供する	○		◎		■	■	■	市費	出前事業実施数	年間2校		
		4	歴史文化教材の開発	小中学校等におけるふるさと学習の副読本や歴史文化遺産マップを開発する		○	◎		■	■	■	市費	副読本・マップ	期間中作成		
5	教材開発者・指導者の研修会の開催	教材開発や指導に関わる市民・教員等を対象とした研修会開催により継続学習機会を提供する	○	○	◎		■	■	■	市費	研修会開催数	年1回				
課題2 保存に関する課題																
①調査に関する課題																
<ul style="list-style-type: none"> 武家屋敷跡等の継続的な調査により城下町の歴史的価値や魅力の解明を進める必要がある 鋭意進められている市史編さん作業の成果である市史刊行が求められている 生活文化に関わる調査が未実施の地域もみられる 酒づくりなどの生業に関する歴史文化遺産の全容が把握されていない 近代和風住宅や近代化遺産が残されているがその全容が把握されていない 特徴的な街道集落や漁村等町並み調査が進んでいない 寺社などに保管されている史料の散逸が懸念される 調査結果の文化財データベースとして作成・更新が必要である 	歴歴歴歴歴 史史史史史 文文文文文 化化化化化 産産産産産 ををををを ののののの かかかかか ををををを 災災災災災 害害害害害 存存存存存 続続続続続 けけけけけ ららららら ののののの 守守守守守 りりりりり たいたいたい だだだだだ ししししし だだだだだ	方針2 歴史文化遺産を確実に次世代に継承する														
		方針2-1 歴史文化遺産に関する調査を計画的に進める														
		6	指定等文化財及び周辺の調査	遺跡や武家屋敷跡の発掘調査、学術調査を継続して進め、指定等文化財等の価値の解明を進める		○	◎		■	■	■	国費、県費、市費	調査件数	年1件		
		7	市史の編さん	歴史文化を幅広く知ることができる市史の編さん作業を進め、その成果を冊子として定期的に発信する		○	◎		■	■	■	市費	市史編さん冊子の刊行	年1冊		
		8	生活文化に関わる調査	布団太鼓、地藏盆、食文化など生活文化に関わる調査をテーマを設定して計画的に進める	◎	○	◎		■	■	■	市費	調査実施数	年1件		
		9	生業に関わる調査	農業、漁業、酒造業など明石の特性となっている生業を対象とした調査を計画的に進める	◎	○	◎		■	■	■	市費	調査実施数	年1件		
		10	建造物に関わる調査	近代和風住宅や学校など近代の歴史文化を構成する建造物調査を市民・団体が中心に進める	◎	◎	◎	○	■	■	■	市費	調査実施数	年1件		
		11	近代化遺産調査	未指定の近代化遺産を対象として市民や団体が中心となって計画的に進める	◎	◎	◎	○	■	■	■	市費	調査実施数	年1件		
		12	町並み調査	西国街道沿いや林崎漁港周辺など街並みの実態を把握するため市民や団体が中心となって調査を進める	◎		◎	○	■	■	■	市費	調査実施数	期間中1件		
		13	史料調査	蔵などで保管されている史料が散逸しないよう、計画的に調査を実施して史料整理を進める	○	○	◎		■	■	■	市費	調査実施数	期間中1件		
		14	文化財データベースの作成・更新	歴史文化を伝える基礎となる文化財データベースを作成し、定期的に更新する			◎		■	■	■	市費	データベース更新	2年に1回		
		方針2-2 歴史文化遺産の保存事業を拡充する														
		15	文化財への指定等	指定等文化財及び周辺地域の指定拡大、未指定文化財の指定・登録などの方策を拡充する		○	◎		■	■	■	市費	指定等件数	年2件		
		16	指定文化財等の環境整備	指定文化財等の見学ルート確保や説明板の設置を含め文化財及び周辺環境整備を進める		○	◎		■	■	■	市費	環境整備件数	年1件		
17	史跡明石城跡保存活用整備	史跡明石城跡の保存整備事業を兵庫県と協働して進める			◎	○	■	■	■	国費、県費	保存活用整備事業	期間中3件				
18	旧波門崎燈籠堂の環境整備	旧波門崎燈籠堂周辺のフェンスの再設置や園地化等を県港湾部局と協働して計画的に進める			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費	環境整備	期間中一部完了				
19	船上城跡の環境整備	船上城跡と推定されている高台の保存や見学ルート等の環境整備を進める			◎		■	■	■	国費、県費、市費						
20	重要建造物等の保存	城下の商家、近代洋館建築の安藤家、瓦生産業を示す煙突、五輪塔等の保存を進める		○	◎	◎	■	■	■	国費、県費、団体費						
21	漁港町並み関連建造物の保存	漁港の町並みの面影を残す建造物について各種法的な枠組を活用して保存の措置を進める		○	○	◎	■	■	■	市費						
22	歴史文化遺産管理の仕組みづくり	無住の神社や所有者不明の歴史文化遺産管理を市民協働で進めるための仕組みづくりを検討する		○	○	◎	■	■	■	国費、県費、市費						
23	布団太鼓の公開の場の設定	布団太鼓を公民館等で一堂に鑑賞できる場を設定するなど、太鼓の公開を促進する		○	○	◎	■	■	■	市費						
24	修理・修復等の財源確保・支援	修理・修復の財源を確保した上で、山車や道具類、建造物等の修理・修復の支援に取り組む		○	○	◎	■	■	■	国費、県費、市費	修理等支援数	年2件				
25	食文化の把握調査・魅力発信	食文化の魅力について把握調査結果も踏まえ、多様な情報発信を行う		○	○	◎	■	■	■	国費、県費、市費						
課題3 活用に関する課題																
①観光面・情報発信面の課題																
<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化遺産の魅力活用や発信が限定的である 観光拠点である明石城跡のガイダンス機能の拡充が求められている 点在する歴史文化遺産の魅力が活用されていない 明石の南北軸が明示されていないため、歴史文化の周遊観光が限定的である 歴史文化遺産周辺の駐車場等整備が進んでいない 		方針3 歴史文化を活かしたまちづくりを推進する														
		方針3-1 歴史文化観光に関わる多様な取り組みを展開する														
		26	国際交流・地域間・広域交流	姉妹都市等との国際交流、地域間観光交流、淡路島等との広域交流を推進し、魅力の発信を上げる			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費	連携事業数	年1件		
		27	歴史文化観光のコンテンツ拡充	ホームページ等での観光情報の発信を継続すると共に新たなコンテンツを拡充する			◎	○	■	■	■	国費、県費、市費	コンテンツの拡充	期間中2回		
		28	ガイダンス機能の拡充	歴史文化遺産のガイダンス機能の拡充、展示の場の確保、説明板整備などの魅力発信方策を拡充する		○	○	◎	■	■	■	国費、県費、市費				
		29	歴史文化遺産のネットワーク化	歴史文化遺産間の関連性を明示する冊子の作成、案内板の表記などネットワーク化を進める			○	◎	■	■	■	国費、県費、市費				
30	歴史文化周遊観光	歴史文化遺産周遊観光のため、タコバス等公共交通利用を含め周遊ルートの設定などを進める	△	△	◎	○	■	■	■	国費、県費、市費						
31	歴史文化遺産周辺の環境整備	歴史文化遺産周辺の駐車場整備や幅員の狭い道路での自転車利用の誘導などの環境整備を進める		○	○	◎	■	■	■	国費、県費、市費						
方針3-2 歴史文化遺産が核となるまちづくりを市民等と協働する																
32	文化博物館常設展示の拡充	明石の歴史文化の総合的発信と共に、来訪者がその価値を学ぶことができるよう博物館常設展示を拡充する			◎		■	■	■	国費、市費	展示の拡充	期間中拡充				
33	地域の歴史文化遺産の明示	城の外堀、道標、駅家などの存在を明示するためマップ作成や説明版設置を実施する			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費	説明板の設置	年2箇所				
34	シンポジウム等の開催	シンポジウム等により明石の歴史文化を学ぶ機会を提供すると共にまちへの愛着や誇りを醸成する取り組みを進める			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費	シンポなどの開催	年1回				
35	歴史まち歩き開催	地域のまち歩きを定期的に開催し、歴史文化を核としたまちづくりのファンを増やしていく			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費	歴史まち歩きの開催	年1回				
36	織田家史料の展示・公開	織田家に残る貴重な史料を広く市民や来訪者に展示、公開する施設を整備する			◎		■	■	■	市費						
37	地域の歴史文化遺産の活用	長屋門付農家、瓦工場の煙突、登り窯等の活用を核としたまちづくりを進める			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費						
38	建造物等の公開	登録文化財などが地域のまちづくりの核となるよう公開に向けた取り組みを進める		○	○	◎	■	■	■	国費、県費、市費						
39	部局間連携による地域づくり	庁内部局間連携により都市景観形成重要建造物等の活用など歴史文化遺産を核としたまちづくりを進める			◎	◎	■	■	■	国費、県費、市費	連携事業数	年1件				
課題4 体制づくりの課題																
<ul style="list-style-type: none"> 連携して取り組みを展開する体制づくりが進んでいない 功績のある人材を顕彰する制度が確立していない 歴史的建造物の保存活用に関する行政相談窓口の設置が必要である 		方針4 歴史文化遺産保存・活用のための体制を構築する														
		40	歴史文化遺産保存活用体制の構築	(仮称)あかし文化遺産保存活用協議会を組織化して体制づくりを構築する	◎	◎	◎	◎	■	■	■	市費	協議会の開催	年1回以上		
		41	顕彰制度の確立	歴史文化の保存活用に貢献した市民や団体を顕彰する制度を確立し、市民活動の幅を広げる				◎	■	■	■	市費	制度の確立	期間中確立		
42	市民相談窓口の設置	歴史的建造物等の保存や活用に取り組むことができるよう市民向けの各種相談を受ける窓口を設置する			◎	◎	■	■	■	市費						
課題5 防災・防犯に関する課題																
<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画に文化財の被災に関する条項が記載されていない 文化財パトロールは年1回に限定される 地域における歴史文化遺産の防犯の推進が必要とされる 		方針5 歴史文化遺産を災害などから守る仕組みづくりを進める														
		43	地域防災計画の文化財防災	明石市地域防災計画に災害時の歴史文化遺産に関する条項を追記し、文化財防災への対応を図る				◎	■	■	■	市費	地域防災計画への条項追記	期間内完了		
		44	文化財パトロールの拡充	文化財防災デーの取り組みを継続すると共に、地域単位で市民による文化財パトロールを進める				◎	◎	■	■	市費	地域単位のパトロール数	年1地区		
45	防災設備設置への支援	文化財所有者等が設置する防災設備への支援を行う		○	◎	◎	■	■	■	県費、市費、団体費	防災設備支援	年2件				